



みんないろいろ！ふつうのみえかた 色・ものの見え方を知る絵本

株式会社スタジオネ63

大場千種、大村瑛美、浪江千尋、稲田光枝（東京都）



株式会社 スタジオネ63

01 目的

小さな子どもが触れる「絵本」を使って、色の見え方が人によって異なることを説明しています。子ども同士の交流の幅や個性の幅が広がる幼稚園～小学校低学年の時期に「もの見え方は人によってちがう」ことを説明することで、通常色覚の子どもも色覚多様性を持つ子どもも「気づき」を得ることができます。「人と見え方がちがうのはおかしいことじゃない」と早い段階で知り、MUDやUDの観点を子どもの内から学んでもらうことで「自分と異なる人にやさしくできる子どもに育てほしい」という目的を持って制作しました。また、子どもへの読み聞かせを通じて、自分の子どもの色覚多様性に大人がいち早く気づくことができます。

02 ターゲット

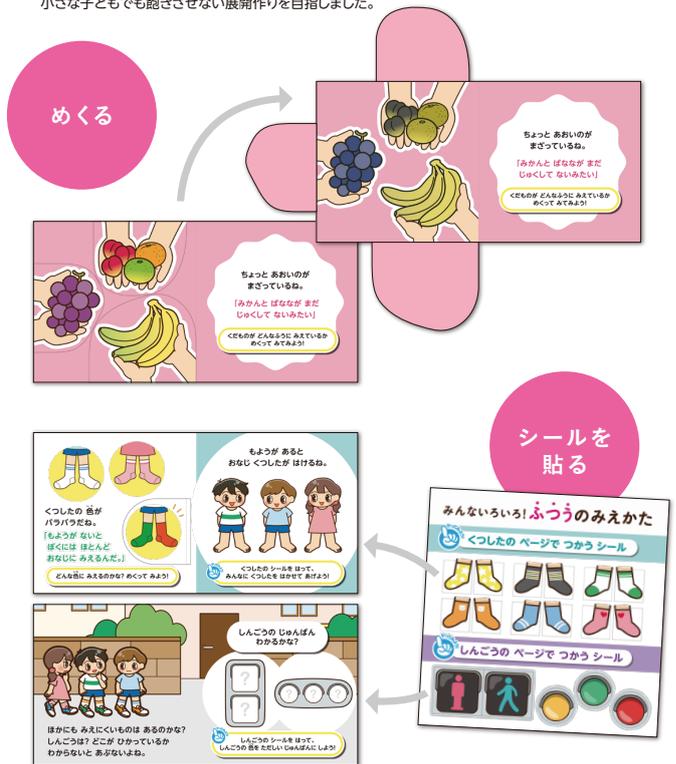
幼稚園～小学校低学年の子どもと、その家族

工夫点

小さな子どもが触れる「絵本」で、色の見え方が人によって異なることを説明するツール。子ども同士の交流や、個性の幅が広がる幼稚園～小学校低学年の時期に「もの見え方は人によって違う」ことを説明することで、通常色覚の子どもも色覚多様性をもつ子どもも「気づき」を得て、MUDやUDの観点を学べます。めくったりシールを貼る仕掛けも施し、子どもに飽きさせないような構成にしています。

03 工夫点

●絵本の一部にめくる、シールを貼るなどの仕掛けをつくり、色覚多様性についてよりわかりやすく、小さな子どもでも飽きさせない展開作りを目指しました。



講評

当事者の気づきを実感させてくれる作品。視覚的にわかりやすくメッセージを伝えてくれることで、子どもだけでなく、大人にもわかりやすい、ふつうということを理解させてくれる作品です。3人のキャラクターも効果的に利用されており、シールを貼るなど参加させることでより理解を深められる点を評価しました。